

## 令和元年度お茶の水女子大学経営協議会〔第1回〕議事録

日 時：令和元年6月25日（火）15：00～16：55

場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）

出席者：（学外委員）相澤委員、小野委員、坂本委員、篠塚委員、村松委員  
（学内委員）室伏学長、森田理事、三浦理事、佐々木理事、谷理事、加藤副学長、  
新井副学長、藤原副学長、井戸副学長・事務局長  
（陪 席）内海監事、棚橋副理事、谷本副理事  
水野文教育学部長、小林理学部長、仲西生活科学部長、  
菅原大学院人間文化創成科学研究科長、坂元総合評価室長

### 1. 議事録（案）の確認

記録内容及び大学ホームページへの掲載について、了承した。

### 2. 学長報告

附属中学校における不審者侵入事案について報告があり、キャンパス内の安全確保のために必要な対応策を早急に実施したこと、今後更なる安全管理体制整備に向けて努力すること等の説明があった。相澤委員より、警備体制の強化が大学と社会との連携のマイナス要因とならないよう、バランスよく進めてほしいとの意見があった。

続いて、平成30年3月6日開催の経営協議会において報告した学生宿舎整備計画について進捗状況の報告があり、PPP事業方式により整備を行い、2022年4月オープン予定であること、同建物に課外活動施設を取り込む方向で検討していること等の説明があった。相澤委員より、学生寮運営を専門とする民間事業者のノウハウを活用し、優れた運営を行っている他大学の事例も参考として、学生にとって魅力的な寮を整備してほしいとの意見があった。

### 3. 審議事項

#### （1）平成30（2018）事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

森田理事より、平成30（2018）事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、資料に基づき説明があり、文言等の修正は学長に一任することとし、審議の結果、原案のとおり承認された。

相澤委員より、「THE世界大学ランキング日本版」において本学のランキングが上昇した要因について確認があり、森田理事より、今回のランキングから新たな指標として、授業・指導の充実度、教員と学生の交流等に関する学生調査をソースとした項目が追加され、教育に対する学生の満足度の高さが順位を上げた主な要因となったとの説明があった。

続いて相澤委員より、科学研究費補助金の採択率上昇の要因について確認があり、森田理事より、若手研究者への助成枠の拡大を踏まえ、若手教員の申請書類のチェックを重点的に行ったことが主な要因であるとの説明があった。

(2) 平成 30 (2018) 年度決算について

森田理事より、平成 30 (2018) 年度決算について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(3) 令和 2 (2020) 年度概算要求について

森田理事及び井戸副学長・事務局長より、令和 2 (2020) 年度概算要求について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

小野委員より、築年数の古い文教育学部 2 号館及び理学部 1 号館の建物について、過去の改修状況の確認があり、井戸副学長・事務局長より、耐震補強等は実施済みであるが、今回は主に内部の全面改修のため予算要求を行うことの説明があった。

(4) 学長選考会議委員の選出について

森田理事より、学長選考会議委員の選出について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 4. 報告事項

(1) 2019 年度卓越大学院プログラム申請について

森田理事より、文部科学省に申請した 2019 年度卓越大学院プログラムについて、資料に基づき報告があった。

村松委員より、AI の進展が既存の格差や不平等を増大させる可能性があることを懸念しており、お茶の水女子大学が女性を中心としてその不平等を解消していくことは非常に重要であるとの意見があった。

相澤委員より、本プログラムは文理融合領域ということであるが、単に文系、理系各々の科目を履修するというだけではなく、新たな情報化時代に向けて、文系、理系に共通の基盤となる力を培う教育体系を構築してほしいとの意見があった。

また、篠塚委員より、AI の分野を牽引する世界トップの研究グループは、性別、人種等において多様であり、変革を生み出すためにはダイバーシティが重要な要素となるため、お茶の水女子大学においても、女性だけではなく、男性の視点も取り入れた女性リーダー育成事業を進めてほしいとの意見があった。

森田理事より、本学の博士課程教育リーディングプログラムにおいて、男性を含めた他大学の大学院生と共に研究を行っており、卓越大学院プログラムにおいても他の大学院と連携し、性別や国の垣根を越えた教育研究を進める予定であるとの説明があった。

(2) 全学・部局別評価結果「外部評価報告書」について

森田理事より、全学・部局別評価結果「外部評価報告書」について、資料に基づき報告があった。

(3) 国際交流データについて

佐々木理事より、国際交流データについて、資料に基づき報告があった。

- (4) お茶大×カルティエ シンポジウム「女性が輝く社会の実現のために」について  
佐々木理事より、お茶大×カルティエ シンポジウム「女性が輝く社会の実現のために」について、資料に基づき報告があった。
- (5) 国際交流留学生プラザ竣工式について  
佐々木理事より、国際交流留学生プラザ竣工式について、資料に基づき報告があり、出席の委員に対し謝辞が述べられた。  
村松委員より、館内のパブリックアートについて、今後機会があれば、女性芸術家の作品も是非検討願いたいとの意見があった。  
また坂本委員より、館内では大学生や附属学校の児童生徒が同窓生と挨拶を交わす様子が見受けられ、国際交流留学生プラザが交流の場として発展していくことを期待しているとの意見があった。
- (6) 保護者向け海外留学制度説明会について  
佐々木理事より、4月の入学式と同日に行われた保護者向け海外留学制度説明会について、資料に基づき報告があった。既に夏季の海外短期研修の申込者が増加するという効果が表れており、更に秋季に学生及び保護者を対象とした留学フェアの開催を予定していることの説明があった。
- (7) 外部資金獲得状況について  
森田理事より、外部資金獲得状況について、資料に基づき報告があった。
- (8) 平成30(2018)年度卒業生・修了者の進路状況について  
三浦理事より、平成30(2018)年度卒業生・修了者の進路状況について、資料に基づき報告があった。
- (9) 国立大学法人東北大学との連携及び協力に関する協定について  
森田理事より、国立大学法人東北大学との連携及び協力に関する協定について、資料に基づき報告があった。
- (10) その他  
加藤副学長より、2019年4月～6月における本学の主な活動について、資料に基づき報告があった。

## 5. その他

- 室伏学長より、意見交換として予定していた今年度の事業計画については、ここまでの審議事項と報告事項において十分にご意見を頂いており、それに代えることの説明があった。
- 室伏学長より、2019年度経営協議会開催予定について、資料に基づき説明があり、次回開催は令和元年10月15日(火)15時であることを確認した。

以上